

令和3年度特定非営利活動法人 真砂山 FUN クラブ年次活動報告書



真砂山 FUN クラブは、まちづくり推進等の社会貢献活動を行うことで、地域魅力が連なる村松地区となることを目指す、特定非営利活動法人(NPO 法人)でございます。

新型コロナウイルスの影響下の8月11日の遅い活動開始となり、どの様に知っていただき、どの様に活動を進めるか、課題でありました。

本来ならば、ご参集いただき、設立趣旨、活動計画等についてご説明、ご意見をいただき進めるべきところですが、新型コロナウイルス蔓延防止で、十分な対応ができませんでした。

そのため、まずホームページを立上げ、NPO 入会案内・寄付案内チラシを作成し、少人数で、地域の皆様へ、NPO 設立趣旨等の説明や入会勧誘等を進めると共に、地域魅力を体験・体感する活動に、少しずつ取り掛かりました。

お陰様で、東海村、大神宮・虚空蔵堂、原子力機構など、約60名の地域の方々に、ご入会及びご寄付、ご支援をいただきました。

未だ厳しい社会環境ではございますが、地域全ての関係者の皆様が、地域活性化を通して、相互利益(WIN-WIN)が得られます様、また相互に助け合って(GIVE & TAKE)行けます様に、地域の財産である歴史、自然、科学に根差した地域の魅力を体験・体感する活動を、来年度も頑張ってお進めしていきたいと思っております。



特定非営利活動法人 真砂山 FUN クラブ
理事長 井坂 文明

【令和3年度の活動】

1 阿漕ヶ浦を利活用した地域活性化活動

阿漕ヶ浦を利活用することの大神宮様のご了解と、東海村、東海村観光協会、日本原子力研究開発機構ほか地域の皆様の、ご支援ご協力をいただき、阿漕ヶ浦と阿漕ヶ浦公園を一体化活用する地域活性化活動を進めました。

(説明看板の設置)

NPO の「憩いの場づくり」看板や、「釣り禁止」看板を阿漕ヶ浦湖畔に建て、阿漕ヶ浦と阿漕ヶ浦公園の一体化活用を進めました。

(湖畔の見える化整備)

児童公園から、阿漕ヶ浦が見通せる様に、伐採等の湖畔の整備を進めています。またサッカー場近くの湖畔を憩いの広場として利活用するため、刈り払い等の整備も進めました。



整備前。



阿漕ヶ浦が見える様になりました。



整備前。



サッカー場近くの湖畔が広い憩いの場になりつつあります。



2 細浦の魅力を繋ぐ活動

細浦周辺には、「細浦青畝」と言われるように、沢山の魅力があります。これらを繋ぐ活動の一環として、細浦のランドマーク的憩いの場となる様に、東海村及び地域の皆様のご協力をいただき、からし菜等を植え楽しんでいただく活動を始めました。



3 東海村のスカシユリ増殖活動への協力支援

東海村生涯学習課及び東海村中央公民館が進めるスカシユリ増殖活動の支援として、八間道路への球根植付け作業をしました(令和4年1月15日)。



4 令和4年度実施予定のロゲイニング大会の現地調査

仲間と一緒に地域の魅力ポイントを巡り点数を競うロゲイニング大会の準備として、村松地区の魅力を見出す現地調査(10キロウオーク)を行いました(11月28日)。



【令和4年度の活動に向けて】

今年度目標とした「事業の推進と宣伝」の実施については、地域関係者の皆様が楽しみ発見・体験・体感する事業の一部に着手し、その感動を HP 等でお伝えすることが出来たと思っています。もう一つ目標とした「経営と体制の自立」については、出来ておらず、まだこれからです。

令和4年度も、地域関係者の皆様が、地域魅力を楽しみ発見・実感・体感できる事業の推進と宣伝に勤めると共に、自立した NPO 経営ができる様に頑張ります。